



CANADA



### レスブリッジ大学とダブルディグリー留学プログラムを締結しました!



学習院女子大学は、協定校であるカナダのレスブリッジ大学とダブルディグリー留学プログラムを締結しました。5月13日の調印式は学習院女子大学にて行われ、レスブリッジ大学からは Mike Mahon 学長夫妻、Janice Varzari 総長夫妻、Paul Pan 氏が来校されました。

ダブルディグリー留学プログラムとは、女子大学に在籍しながら海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得できる制度です。

レスブリッジ大学は1967年に創設された、アルバータ州レスブリッジ市にある州立大学で、文理学部、教育学部、芸術学部、保健学部、経営学部の5学部で構成される大学です。学生数は約8,000人以上。本プログラムに参加する学生は文理学部に所属することになります。2年秋学期から2年半留学する場合、3年秋学期から2年留学する場合があります。入学から卒業まで、最短5年間必要となります。

本学とレスブリッジ大学は2014年2月より双方の授業をそれぞれの学生が同時に受講する海外同時授業を実施しており、授業を通して交流を行ってきました。

ダブルディグリー留学プログラムは本学としては初の試みであり、本プログラムを導入したことで、学生の留学における選択の幅を大きく広げ、積極的に海外留学に挑戦する機会を増やし、グローバルに活躍できる人材の育成を目指していきます。

調印式が行われたこの機会に、レスブリッジ大学の皆さんにより深く学習院女子大学についてご理解いただけたらと、キャンパスツアーやお茶席、授業見学なども実施しました。



### Visitors from Partner Universities

#### 協定大学交流

平成28年前期までに、協定大学から教職員の方々の本学へお見えになりました。

国際交流推進センター所長、スタッフをはじめ、この秋から留学する学生や帰国した学生、またこれから留学を希望する学生と懇親会の時間も設けられました。今後ますます留学希望者が増え、交流が盛んになることを願っています。

4月1日(金) 国立高雄大学 黄肇瑞学長 他4名

4月20日(水) 梨花女子大学 Mimi Ahn氏

5月13日(金) レスブリッジ大学 Mike Mahon学長夫妻・Janice Varzari総長夫妻・国際交流担当 Paul Pan氏

6月24日(金) ワルシャワ大学 岡崎恒夫先生

8月26日(金) 静宜大学 Tang Chung-Yi学長・Tseng Fang-Chi日本語学科教授・Chang Ai-Ching氏

## 国際交流推進センターってどんなところ?

国際交流推進センターでは、留学を考えている学生のサポートや日本にきている留学生のケアをしています。毎年、留学説明会、学内留学フェア、国際交流会、留学生旅行など、様々なイベントも実施しているのはご存知ですか。留学に関することでしたら、お気軽に国際交流推進センターにご相談ください。



- 開室時間：月～金 / 8:40～16:45 土 / 8:40～12:30 (臨時閉室する場合があります)
- 場 所：7号館1階
- 掲 示 板：7号館1階屋外掲示板及び、国際交流推進センター事務室 URL：<http://www.gwc.gakushuin.ac.jp/global/>
- お問い合わせ：Tel 03-3203-7203 Fax 03-3203-7207 Email：gwc-fsc@gakushuin.ac.jp



# International Center Events

Welcome Party  
4月7日(木)



七夕の夕べ  
(国際交流会)  
7月7日(木)



留学生の話  
を聞こう！



<スタッフ Voice>

帰国する協定留学生のお別れ会「七夕の夕べ」を開催しました。学習院女子大学に在籍する留学生、日本人学生、教職員に加えて、隣接する東京都立戸山高等学校からも13名の生徒さんが参加してください、合わせて70名近くが参加しました。七夕飾りや浴衣など、日本の夏の雰囲気を感じてもらえるよう、ボランティアの学生たちが中心になって準備を進めてくれました。様々な国に関するクイズをチーム対抗で競ったり、全員で輪になって盆踊りを踊ったりして、交流を深めました。会の終わりに、今学期で留学期間が終了し帰国する協定留学生たちが一人ずつ挨拶をし、記念品が贈られました。留学生たちの話す内容や表情から、充実した留学生活だったことが感じられました。



【ポーランド】  
6月14日(火) 昼休み  
発表者  
チュバク・キング・バルバラさん  
ゴロンカ・マルタ・アグニエシカさん



<スタッフ Voice>

定期的に様々な国の留学生に母国の紹介をしていただいています。留学生にとって、人前で発表することも、日本語の勉強になります。また、日本人学生にとっても、普段見聞きすることの少ない国の話を聞くことができる、またとないチャンスです。このイベントをきっかけに、協定校やその国々への興味を深めてもらい、協定留学に繋がってほしいです。



【ドイツ・ラオス】  
7月12日(火) 昼休み  
発表者  
(ドイツ) フォンク カマンさん  
(ラオス) ナンタヴォン ヴィライボンさん

Welcome Party ~留学生歓迎会~のお知らせ

留学生とお友達になりたい日本人学生の方、平成28年9月22日(木) 日本人とお友達になりたい留学生の方、奮ってご参加ください。軽食を用意してお待ちしています！

平成28年9月22日(木)  
※休日開講日です！  
16:30~  
場所：女子大学互敬会館

平成29年度秋派遣留学説明会のお知らせ

平成29年度秋学期からの協定大学へ留学希望者を対象とした説明会を行います。関心のある方は、必ず出席してください。募集要項はHPよりダウンロードが可能です。当日必ず持参してください。

日時：平成28年10月4日(火)  
12:15~12:55  
場所：2号館3階236教室(予定)

■ 学習院女子大学留学生数(国籍別) International Enrollment (平成28年5月1日現在)

国籍	中国	韓国	台湾	香港	マレーシア	ドイツ	イギリス	チェコ	ポーランド	ベトナム	インドネシア	ラオス	エストニア	ルーマニア	アメリカ	カナダ	合計
委託生・研究生など														1			1
大学院	4									1				1	1		7
学部	19	11	1	3	1					2	1						38
協定生		4	2		1	4	2	2	2			1	1	1		2	22
国籍別総数	23	16	3	3	1	4	2	2	2	3	1	1	1	3	1	2	68





## 伊藤 みさと

- 国際コミュニケーション学科3年
- 2016年4月～2017年3月
- リーズ大学 (イギリス)

### Q. 留学のきっかけ

私がリーズ大学を選んだ理由は、リーズ大学がイギリスの中でも良い評価をうけていると耳にしたからです。実際に、通う学生からも高い評価を受けています。キャンパスが非常に広く、快適な図書館、ジム、カフェ、Union など様々な施設があり、学習院女子大学とはまた異なった学生生活を楽しむことができます。キャンパスが大きいといっても、大きすぎるわけでもないで行動しやすいです。また、Unionなどで様々なイベントが行われているので、他の学生と交流するチャンスも多くあります。

またリーズの街自体も非常に住みやすいです。イギリスの中でも5番以内に入る大都市だと言われていますが、日本の大都市のように決して都会ではないです。それでも、大学から 15 分程度歩けば街の中心に行くことができ、買い物も不自由しません。自然も豊かなので、非常にリーズの街が気に入っています。

### Q. 休暇の過ごし方

私は外にいることが大好きなので、よく出かけています。リーズは比較的栄えています。同時に自然豊かな場所も多いです。そういった場所にピクニックに行ったりもしましたし、電車を利用して古い町並みが楽しめる York や、Beatles でも有名な Liverpool に行ったりもしました。ロンドンにも電車ならば2時間半程度で行くことができます。また長期休暇にはヨーロッパにも旅行に行ってきました。航空券もお手頃な価格で購入できるので、多文化を知る良いきっかけになると思います。

### Q. 留学前しておけばよかったこと

イギリスの英語は、私たちが学んできたアメリカ英語とは発音やアクセントが全く異なります。時には使う単語が違うことさえあります。今では大分慣れましたが、最初着いた時はなにを言っているのかさっぱり分かりませんでした。もし、リーズ大学に留学したいと考えているのならば、早いうちからイギリスの BBC ニュースや映画を見て耳慣らしをしたほうが良いと思います。



英語クラスのメンバーで一番最後の授業の時に撮った写真

## 神林 絵梨

- 国際コミュニケーション学科4年
- 2016年4月～2017年3月
- パラツキー大学 (チェコ)



### Q. 留学で大変だったこと

春派遣1期生だったこともあり、秋派遣とはシステムが少し異なっていたためすべて自分で調べて行動しなくてはいけなかったことです。例えばピザの取得や寮の問題。私は日本でピザを申請できず現地での申請だったため、ピザ取得にはとても苦労しました。またチェコは英語が話せる人が少ないため、寮や買い物の際にチェコ語がわからず困ることも多々ありますがパラツキー大学には日本語学科があるので、日本語学科の学生たちにいつも助けてもらっています。

### Q. 留学前しておけばよかったこと

英会話の練習です。テキストでの勉強と話す練習はまた少し違います。いくら文法や単語を知っていてもそれを実際に使って英語で話すことに慣れていなかったため、思ったことがすぐに言えず最初はとても苦労しました。日本にいるときからもっと英語に触れ、話す機会を作っておくことをお勧めします。

### Q. 留学先大学や、その町のおすすめ情報

私が住んでいるオロモウツという街は物価もとても安く住みやすい街です。レストランでは 500 円ほどで十分に食べることができ、チェコはビールが水よりも安く苦味もなく飲みやすいのでとてもおすすめです。またヨーロッパは「エラスムス」という特別な留学システムがありヨーロッパの各地からの留学生が毎セメスターごとに来るので、一度に様々な国の学生と交流でき色々な国の文化を知ることができるのもチェコ留学の魅力の一つだと思います。



神林さん

## 青島 早苗

- 国際コミュニケーション学科2年
- 2016年4月～2017年3月
- 清華大学 (中国)



### Q. 留学のきっかけ

私は現在中国の清華大学に留学中です。私が中国に留学しようと思ったきっかけは、両親が中国人で幼いころから中国語を耳にし、中国や中国語に興味を持つようになったためです。清華大学に決めた理由は、中国最高峰の大学で、中国についてより深く幅広く学びつつ語学力を高め、たくさんの人と交流できる最適な場所だと考えたからです。

### Q. 現在とっているクラス

春学期は留学生向けの語学のクラスを中心に履修しました。留学生向けのクラスは20人程度の少人数制が多いため、先生と生徒の距離が近く、質問もしやすい環境でした。語学のクラス以外にも書道や中国概況、時事ニュースなど現在の中国や中国の歴史、文化などについて多方面から知ることのできる授業を履修しました。初めころは予習に追われて大変でしたが、徐々に慣れ、秋学期からは本科生の授業を履修または聴講しようと考えています。

### Q. 週末の過ごし方、課外活動

週末は友達と近くに遊びに行ったり、授業の予習をしたり、図書館に行って読書をしたり、交流会に参加したりと様々です。週に一度の水泳の活動にも参加していました。また、農村地方の中学生に授業をするボランティア活動にも参加しました。その中で私は日本の文化(主にアニメや食)について紹介しました。特に初歩の日本語を教える事は中学生からの評判もよく、非常にやりがいを感じました。この活動を通して語学力の向上はもちろんのこと、積極的に動く大切さを学びました。今後もいろいろな活動に積極的に参加し、より多くの人と交流し日本の文化を発信していけたらと思います。



青島さん 同じ授業で仲良くなった人たち



# Exchange Students From Overseas 留学報告



Wenzel Jakob  
ヴェンツル・ヤクブ

- 大学院 国際文化交流研究科
- 2016年4月~2016年9月
- パラツキー大学 (チェコ)



## 〈日本留学中の思い出〉

私の日本での冒険は 3 月 20 日から始まりました。当日成田空港に到着した時は、日本での生活について何も知りませんでした。最初はメトロの乗り方や買い物の仕方などの日常的な事もきちんと出来ませんでした。困ったら日本人はいつも優しく手伝ってくれました。

時間が流れて私は様々な体験して、だんだん日本での生活に慣れました。色々な事を習って、様々な人と出会って、体験をたくさん得ました。もうすぐ帰国しますが、振り返ると日本での留学はこれまでの私の人生の中で最も素晴らしい時期でした。心から感謝しております。

体験は世の中で一番貴重な事だと思います。外国での留学は体験を得ることのせっかくのチャンスですから、日本人の学生の方も是非留学して下さい。

## 〈日本留学中の思い出〉

まず、私に留学のチャンスを与えてくださった皆様に、そして私を支えてくださった皆様に、心より感謝しております、と云わせて頂きます。さて、思い出の話に移しましょう。思い出は儚いもので、時間が経つにつれて薄れていきます。私の思い出も例外ではありません。私は日本のさまざまな歴史的な観光地を訪れ、さまざまな催しに参加させて頂き、さまざまな経験を重ねてきました。具体例として、江ノ島の海岸を歩く思い出を取り上げましょう。母国、チェコ共和国、では見られない風景を眺められました。こんな思い出を一生忘れたくないと決め、思い出の運命に抗い始めました。

## 〈私の国・大学の良いところ〉

私が通っている大学、パラツキー大学はオロモウツという歴史的な町に位置しています。日本の大学と違って、キャンパスがなく、大学の施設は、歴史的な建物と共に、町に点在しています。そのため、日本人の留学生は日本の大学と異なる雰囲気を楽しめるのではないかと思います。



Kuzel Jiri  
クジェル・イジー

- 大学院 国際文化交流研究科
- 2015年9月~2016年9月
- パラツキー大学 (チェコ)



## 〈日本留学中の思い出〉

興奮やら、怖いやら、複雑な気持ちで日本に来て、同じような気持ちで帰国するかもしれません。なぜなら、ルーマニアにいる両親や友人にとっても会いたいけれど、私は日本での生活をとても好きになりましたので、日本を離れるのは非常に惜しいからです。たくさんの素敵な場所に旅行したり、日本人と話したり、日本文化に関するたくさんの体験をしたりして、これらは、すべて大切な思い出になりましたが、何よりも、日本の日常生活の些細なことは掛け替えのない思い出になりました。例えば、授業後にラーメン、すしといった私の好きな日本料理を食べに行くこと、学習院女子大学のキャンパスで季節の変化を観察することなど、そのような些細なことが私の心に深く刻まれ、帰国したら、懐かしくなるはずです。

## 〈私の国・大学の良いところ〉

国の中央はカルパチア山脈が占めていて、東のほうは黒海にも面しています。ルーマニアは多様な地形がある国で、ヨーロッパの最高の景観のいくつかはルーマニアにあるかもしれません。しかし、ルーマニアの自然だけでなく、都市も面白いです。ブカレストというルーマニアの首都では、古い歴史と現代史が交錯し、歴史の流れを肌で感じられるはずです。

ブカレストの中心部にあるブカレスト大学は、ルーマニアの最大の公立大学です。ブカレスト大学は評判が良く、そこで勉強する大学生たちは一般に多くの外国語を話すことができます。もしブカレストに旅行する際に迷子になっても、大学生に必ず案内してもらえます。ぜひルーマニアに遊びに来て下さい！

Bulican Catalina  
ブリカン・カタリナ

- 日本文化学科
- 2015年9月~2016年9月
- ブカレスト大学 (ルーマニア)





## イベント紹介

霞会館助成金により、年に数回の伝統文化芸能鑑賞会を実施しています。  
2月11日(木)に行われた大相撲鑑賞会と、6月4日(土)に行われた歌舞伎鑑賞会の様子をご紹介します。

### 大相撲鑑賞会



国際コミュニケーション 学科3年 谷田部 茜

日本人でありながら相撲を生で観戦したのは今回が初めてで、とても貴重な経験となりました。

特に印象に残っているのは子供と力士の対戦で、華奢な小学校低学年の子供たちが、一生懸命力士を倒そうとする場面がとても微笑ましかったです。小学校高学年以上になると身体も大きくなり、力士ともいい取組をしているのには感心しました。相撲の世界は自分とはあまり縁がないのでどのようなものか知る機会は無かったのですが、今回沢山の優秀な力士の卵をみて、日本の相撲業界はまだまだ安泰だなと感じました。

相撲の技や取組の流れを紹介してくれる演目では、面白おかしく説明してくれたので、相撲が年齢を問わず親しみやすい、誰もが楽しめる競技だということがわかりました。

取組をじっくりと見ることも初めてだったので、力士同士がぶつかり合う音や行司さんの掛け声はとても迫力があり惹き付けられるものでした。勝ち負けの判定も比較的わかりやすいので、留学生と共に盛り上がる事ができる競技だと感じました。

お楽しみ歌くらべでは、有名なアーティストを多数見ることができて楽しかったです。なんとと言っても力士の歌の上手さに驚かされ、パフォーマーとしての才能も兼ね備えた人々だなと思いました。

国技である相撲を改めて知ることができた一日でした。日本文化をもっと理解して、世界にも発信できるようになりたいと思います。ありがとうございました。

### 歌舞伎鑑賞会

国際コミュニケーション学科2年 朱 婉軒 (中国出身)

6月4日国際交流推進センターで歌舞伎鑑賞教室に参加してまいりました。今回もう二回目です。一年ぶりの国立劇場に着いて喜んでいました。

国立劇場で歌舞伎の舞台を分かり易い解説をしていただきました。伝統芸能をよく発信するためにこのような体験教室はとても良い機会だと感じます。

中村橋之助さん演じる宗五郎は強靱な人間で、大切な妹の死を冷静に受け止めようになりましたが、真相を知ると、お酒を飲んで、すっかり酔ってしまいました。酔ってる様子が楽しくて哀れをもよおします。梅枝さんは賢くて優しい人間です。心から感動いたしました。



### TOEFL テスト説明会

5月11日(水)と7月1日(金)の2回にわたり、「TOEFL テスト説明会」を実施しました。

国内唯一の TOEFL 取扱い団体である国際教育交換協議会 (CIEE) 国際交流促進部から堀越部長をお招きし「TOEFL の概要説明」や「TOEFL 英語の勉強方法」などについてお話しいただきました。また、7月1日の説明会では、5月26日(木)に学内で実施した TOEFL ITP テストの結果も参考にしながらより詳しい説明があり、参加した学生たちは熱心に聞いていました。



# 学生交換プログラムのある協定大学一覧 (平成 28 年 9 月現在)

No	国名	大学名	所在地	相互交換数※①		語学力の目安※②※③
				受入	派遣	
1	アメリカ	ミズウリ南部州立大学 http://www.mssu.edu/	ジョプリン/ミズウリ州	6	5	IELTS 6.0 (Overall) 程度 セクション毎のスコア: L6.0 R6.0 W6.0 S6.0 程度 または TOEFL iBT 80 点程度
2	カナダ	ノーザン・ブリティッシュ・コロンビア大学 http://www.unbc.ca/	プリンスジョージ/ブリティッシュ・コロンビア州	1	4	IELTS 6.0 (Overall) 程度 セクション毎のスコア: L6.0 R6.0 W6.0 S6.0 程度 または TOEFL iBT 80 点程度
3		レスブリッジ大学 http://www.uleth.ca/	レスブリッジ/アルバータ州	2	7	IELTS 6.0 (Overall) 程度 セクション毎のスコア: L6.0 R6.0 W6.0 S6.0 程度 または TOEFL iBT 80 点程度
4	オーストラリア	メルボルン大学 http://www.unimelb.edu.au/	メルボルン/ヴィクトリア州	8	5	TOEFL iBT 79 点以上 セクション毎のスコア: R13 L13 S18 W21 以上
5	イギリス	リーズ大学 http://www.leeds.ac.uk/students/study-abroad/ http://www.leeds.jp/ (日本語 HP)	リーズ/ウェスト・ヨークシャー州	45	36	IELTS 6.0 (Overall) 以上 セクション毎のスコア: L5.5 R5.5 W5.5 S5.5 以上
6	ドイツ	ハンブルク大学 http://www.uni-hamburg.de/	ハンブルク/ハンブルク州	42	11	ゲーテ・インスティトゥート・ドイツ語検定 B1 レベル程度またはドイツ語検定試験 3 級程度
7		ミュンヘン大学 http://www.uni-muenchen.de/	ミュンヘン/バイエルン州	22	21	ゲーテ・インスティトゥート・ドイツ語検定 B1 レベル程度
8	エストニア	タリン大学 http://www.tlu.ee/	タリン	20	16	IELTS 4.5 (Overall) 以上 TOEFL iBT 50 点以上 ※④
9	ポーランド	ワルシャワ大学 http://www.uw.edu.pl/	ワルシャワ	32	35	IELTS 4.5 (Overall) 程度 TOEFL iBT 50 点程度
10	チェコ	パラツキー大学 http://www.upol.cz/	オロモウツ	48	21	IELTS 4.5 (Overall) 程度 TOEFL iBT 50 点程度
11	ルーマニア	ブカレスト大学 http://www.unibuc.ro/	ブカレスト	26	10	IELTS 4.5 (Overall) 程度 TOEFL iBT 50 点程度
12	中国	清華大学 http://www.tsinghua.edu.cn/publish/th/index.html	北京	6	5	HSK 4 級以上
13	台湾	高雄大学 http://www.nuk.edu.tw/	高雄	-	-	HSK 3 級程度
14		静宜大学 http://www.pu.edu.tw/japanese/	台中	5	-	HSK 3 級程度
15	韓国	誠信女子大学 http://www.sungshin.ac.kr/	ソウル	29	11	一般韓国語能力試験 (S-TOPIK) 中級程度 またはハングル能力検定試験 4 級程度
16		梨花女子大学 http://www.ewha.ac.kr/mbs/ewhkr/index.jsp	ソウル	-	7	一般韓国語能力試験 (S-TOPIK) 中級程度 またはハングル能力検定試験 3 級程度
17	ラオス	ラオス国立大学 http://www.nuol.edu.la/	ビエンチャン	6	-	TOEFL iBT 57 点以上 または同等レベルの英語力
18	フィリピン	パーベチュアル・ヘルプ大学 http://uph-global-academy.co.jp (日本語)	ラスピニヤス/マニラ近郊	-	-	IELTS 4.5 (Overall) 程度 TOEFL iBT 50 点程度

※①相互交換数は協定締結日から平成 28 年 9 月現在の累積となります。

※③ L-Listening, R-Reading, W-Writing, S-Speaking

※②語学力の目安は平成 28 年 9 月現在のものであり、協定校側から変更通知がある場合があります。

※④特定の学部 (Communication, Languages, Informatics, Law) を除く

## 留学制度について

本学在学中に留学するには、以下の4つの方法があります。

- 協定留学:** 学内選考を経て、協定大学に留学すること。
- 私費留学:** 学士の学位授与権のある大学または当該大学に直結する附置機関に事前に本学の許可を受けた上で留学すること。  
(留学先は自分自身で選択。プログラムの内容によっては留学と認められない場合もあります。)
- ダブルディグリー留学:** 海外の大学に留学、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得すること。
- その他の留学:** 本学を休学して、海外の語学学校・専門学校などへの留学。(夏休みなどの長期休暇を利用して留学する場合には休学する必要はありません。)

区分	制度	留学先大学	手続き方法	留学期間	修業年限	単位交換の有無	学費	こんな人にお勧め
協定留学	本学と協定を結んでいる海外の大学へ留学する制度。	現在、学生交換プログラムを実施している協定大学は 14 カ国 18 校。	学内の書類・面接選考を経て、本学より推薦を受けて留学する。留学の手続等は国際交流推進センターがサポートを行う。	原則 1 年間	協定留学期間は卒業に必要な在籍年数に必要入されるため、4 年間で卒業することが可能。	現地で修得した単位をもとに、本学の授業単位として交換可能。	・本学学費全額納入 ・協定大学学費免除 ※旅費、海外保険料、現地生活費等は別途必要	学内成績がよく、本学の代表として高い意識を持って勉学に励む人にお勧め。大学からのサポートもあり、協定校の情報充実にしている。
私費留学	学士の学位授与権のある大学または当該大学に直結する附属機関に、事前に所属学科の許可を受けて留学する制度。	協定大学の枠にとらわれずに自由に留学先を選ぶことができる。	(留学専門業者を利用する等) 留学手続きはすべて自分で行う。	原則 1 年間	私費留学期間は卒業に必要な在籍年数に必要入されるため、4 年間で卒業することが可能。	現地で修得した単位をもとに、本学の授業単位として交換可能。	・本学授業料、施設設備費免除ただし 在籍料 (年度毎 6 万円相当) 納入・留学先大学学費全額納入※ 旅費、海外保険料、現地生活費等は別途必要	留学先の選択幅が広く、留学時期も自分で選ぶことができる。大学からのサポートはないため、情報収集や自己管理能力が必要。
ダブルディグリー留学	本学に在籍しながら海外の大学に留学し、それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することで、両大学の学位を取得する制度。	レスブリッジ大学 (カナダ)	学内の書類・面接選考を経て、本学より推薦を受けて留学する。留学の手続等は教務部と国際交流推進センターが共同でサポートを行う。	2 年次秋学期から留学期間の場合は原則として 5 学期 (2 年 6 ヶ月)、3 年次秋学期から留学期間の場合は原則として 4 学期 (2 年間)	最短 5 年間で卒業することが可能	それぞれの大学で修得した単位の一部を両大学が相互に単位認定することが可能。	・本学授業料、施設設備費免除ただし 在籍料 (年度毎 6 万円相当) 納入・留学先大学学費全額納入※ 旅費、海外保険料、現地生活費等は別途必要	複数の専門分野を学ぶことで、多角的な視野を養いたいという人、また、将来国際的な機関において第一線で活躍したいという人にお勧め。
その他の留学	本学を休学して、海外の語学学校・専門学校へ留学すること。※夏休み等の長期休暇を利用して留学する場合には休学する必要はない。	教育機関の枠にとらわれずに、自由に留学先を選ぶことができる。	(留学専門業者を利用する等) 留学手続きはすべて自分で行う。	規程なし	休学期間分延長	認定不可	休学して留学する場合、本学授業料、施設設備費免除ただし 在籍料 (年度毎 6 万円相当) 納入・留学先教育機関学費全額納入※ 旅費、海外保険料、現地生活費等は別途必要	専門性を深めたい人、費用や時間の限りの中で、充実した海外経験を積みたい人。長期留学を視野に入れたワンステップとして短期留学したい人に向いています。